

2014年10月12日

ブライアン・ブルエット牧師

ピリピ人への手紙：喜びの青写真 #14

OICへようこそ。お越しいただきありがとうございます。この教会に初めていらっしゃった方に、ぜひお知らせしたいことがあります。私たちは、聖書の教えに従うキリスト中心の教会になろうと努めています。誰もが愛されていると感じることができ、神の愛を体験できる教会になることを目指しています。今週も引き続き、パウロがピリピの教会に宛てて書いた手紙を学んでいきます。この手紙は、パウロがピリピの信徒たちに伝えたいメッセージにあふれています。それは、イエスとのつながりから喜びが来るということです。パウロはこの教会を開拓し、この手紙は、エパフロデトに託されたピリピの信徒たちからの手紙への返事です。エパフロデトの旅がどれほど困難なものであったか皆さん想像できるでしょうか。行程をグーグル地図で見てみると、ピリピからローマまでは徒歩で44日かかります。ピリピの信徒たちは、自分たちがパウロを愛していることをどうしても知らせたかったのでしょう。パウロが信徒たちを愛していることを彼らは知っていたからです。今日の聖書箇所は、ピリピ 4:10-14です。

ピリピ 4:10-14

4:10 私のことを心配してくれるあなたがたの心が、このたびついによみがえって来たことを、私は主にあって非常に喜びました。あなたがたは心にかけてはいたのですが、機会がなかったのです。4:11 乏しいからこう言うのではありません。私は、どんな境遇にあっても満ち足りることを学びました。4:12 私は、貧しさの中にいる道も知っており、豊かさの中にある道も知っています。また、飽くことにも飢えることにも、富むことにも乏しいことにも、あらゆる境遇に対処する秘訣を心得ています。4:13 私は、私を強くしてくださる方によって、どんなことでもできるのです。4:14 それにしても、あなたがたは、よく私と困難を分け合ってくれました。

パウロは、信徒たちが送ってくれた贈り物について語ります。パウロは贈り物を感謝しますが、それは何かが必要であったからではなく、信徒たちがパウロのことを気にかけてくれたからです。例えると、子どもからプレゼントをもらったときのようなものです。そのプレゼント自体は、私たちにとって必要な物ではないかもしれないし、あまり役に立たないかもしれませんが、プレゼントしようという気持ちがうれしいのです。今日は満ち足りるということについて基本的な真理を3つご紹介したいと思います。聖書のいう満ち足りる心とは、次のようなものです。「満ち足りる心とは、神への信頼に根差した満足感である。これを持つことにより、人は人生を謳歌できる。」では、満ち足りる心を理解する上で役に立つ基本的な真理を3つ学んでいきましょう。

基本的な真理 #1 – 満ち足りる心は、習得するものである。

ピリピ 4:10,11

4:10 私のことを心配してくれるあなたがたの心が、このたびついによみがえって来たことを、私は主にあって非常に喜びました。あなたがたは心にかけてはいたのですが、機会がなかったのです。4:11 乏しいからこう言うのではありません。私は、どんな境遇にあっても満ち足りることを学びました。

満ち足りる心は、自然に湧いてくるものではありません。私たちは人と比べたり、アダムとエバのように与えられた以上に欲しがったりする傾向があります。不平を言うこともよくあ

ります。そういうことは教えられなくてもやってしまいます。満ち足りる心を得るために、何かをするというわけではありません。満ち足りるために何かを学ぶ必要があります。学ばなければならないことのひとつに、人生観があります。私たちはすでに永遠のいのちをいただいています。それなら、はかないこの世での人生で何かを得ようとやっきになる必要があるのでしょうか。

ヤコブ 4:14 あなたがたには、あすのことはわからないのです。あなたがたのいのちは、いったいどのようなものですか。あなたがたは、しばらくの間現れて、それから消えてしまう霧にすぎません。

また、新しい姿勢も学ばなければなりません。その姿勢には、独りよがりはありません。独りよがりだと、周りの意見を聞き入れません。それは満ち足りることとは違います。満ち足りる心は、信仰が深められて育まれるもので、それには時間がかかります。ある程度の人生経験を経て、新しく経験することをそれに照らして見ることができるのです。私たち夫婦は、ハイチにいる孤児のスポンサーになっています。その男の子は10歳くらいで、去年のクリスマスには、サマリタンズパースのシューボックスに似たクリスマスプレゼントを詰めた箱を贈りました。男の子が箱を開ける様子を撮影した写真が送られてきて、その姿は一億円でももらったかのような喜びようでした。実際のプレゼントは、衛生用品や文房具などです。けれども、彼にはほかに比べるプレゼントがなかったのです。

基本的な真理 #2 – 満ち足りる心は、持っている物や置かれた状況とは関係ない。

ピリピ 4:12

私は、貧しさの中にいる道も知っており、豊かさの中にある道も知っています。また、飽くことにも飢えることにも、富むことにも乏しいことにも、あらゆる境遇に対処する秘訣を心得ています。

あるところに、不満だらけの王さまがいました。いろんなことを心配して夜も眠れず、休んだり、ちゃんと考えたりすることもできません。そこで、王さまは賢者を呼んで、助言を請いました。年老いた賢い人は言いました。「この国で、満ち足りる心を持った男の人をひとり見つけなさい。そして、彼の服を一昼夜着れば、満足します。」何日も経って、ようやく年老いた賢者が帰ってきました。王さまは言いました。「どうだ、満ち足りる心を持った男は見つかったか。」「見つかりました。」「では、その男の服はどこだ。」「王さま、その男は服を一枚も持っていませんでした。」もう少し説明しましょう。

I テモテ 6:6 しかし、満ち足りる心を伴う敬虔こそ、大きな利益を受ける道です。

人生が自分の思うようにいかないときに、満ち足りる心を持つのは簡単ではありません。不思議なことに、多くを持っていても満ち足りる心がないというのも真理です。私たちは、物に恵まれているから幸せだと思いがちです。自分の人生がうまくいっている時に、人を見下すことがないよう気をつけましょう。人に見下された経験が誰にもあるでしょう。私たちは、自分の蒔いた種を刈り取るということを覚えておきましょう。

ガラテヤ 6:7 思い違いをしてはいけません。神は侮られるような方ではありません。人は種を蒔けば、その刈り取りもすることになります。

基本的な真理 #3 – キリストにあつて与えられたものを感謝すること。これを身につけるなら、満ち足りる心を得る。

ピリピ 4:13,14

4:13 私は、私を強くしてくださる方によって、どんなことでもできるのです。 4:14 それにしても、あなたがたは、よく私と困難を分け合ってください。

改めて言います。満ち足りる心は、キリストとのつながりに根差しています。私は、イエスと親しく交わることを感謝していますが、その中で3つのことをここで皆さんにお分ちします。これは、おまけの小メッセージです。まず、神の恵みを感謝しています。どんな状況であろうと、私が受けるべき永遠の罰よりはましであると自覚しています。私には永遠のいのちが与えられているのです。次に、神のお約束を感謝しています。私には天国に備えられた場所があります。イエスは、私を離れず、私をお捨てになりません。神はすべての必要を満たしてくださるアドナイ・イルエです。主は私を真理へと導いてくださいます。そして、イエスが私の友でいてくださることを感謝しています。

ヨハネ 15:15 わたしはもはや、あなたがたをしもべとは呼びません。しもべは主人のすることを知らないからです。わたしはあなたがたを友と呼びました。なぜなら父から聞いたことをみな、あなたがたに知らせたからです。

結び

満ち足りる心を見出し、それを持ち続けるために、お勧めしたいことがあります。まず今を生きてください。私たちは、過去を引きずったり、将来を憂慮したりするあまり、喜びを失うことがよくあります。これを医療の世界では、全般性不安障害と呼びます。つまり、人生のあらゆる場面で最悪を想定してしまうのです。

マタイ 6:34 だから、あすのための心配は無用です。あすのことはあすが心配します。労苦はその日その日に、十分あります。

次に、物やお金は私たちの喜びのために与えられるのではありません。何かの役に立てる道具として与えられるのです。多くを与えられた者は多くを求められます。みことばにあるとおりです。

ルカ 12:48b すべて、多く与えられた者は多く求められ、多く任された者は多く要求されま

す。

最後にこの言葉で締めくくります。満ち足りる心への道はただひとつ、それはイエスです。